

第2学年 国語科学習指導案

日 時 平成21年10月8日(木)
学 級 遠野市立土淵中学校 2年A組教室
2年A組 男子7名 女子10名 計17名
授業者 教諭 西澤孝司

1 単元名 筆者の意見をとらえ、説得力のある表現を学ぼう
教材名「モアイは語る―地球の未来」 (光村図書 2年)

2 単元について

(1) 教材について

本単元は、学習指導要領第2学年の目標(3)「目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえる能力を身につけさせるとともに、読書を通してものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。」に基づいて設定したものである。

本教材はイースター島の事例を基に、「人類が生き延びるためには、今あるこの有限の資源をできるだけ効率よく、長期にわたって利用する方策を考えなければならない。」ということを筆者が主張している説明的な文章(論説文)である。モアイを研究することによって明らかになった絶海の孤島イースター島の歴史、モアイを作るために森林の伐採を続け、結果的にイースター島の文明が崩壊してしまった事実、同じ運命を辿らないようにするための読み手に向けた筆者の意見が、事実や事例を交えながらわかりやすく述べられている。また、文章全体を三つのまとまりに分けることができるため、この文章は、序論(問題提起)・本論(具体的な事例)・結論(筆者の主張)という尾括型の文章構成をしっかりとおさえることが比較的容易な文章であると言える。また、学習したことを生かし、自分の知識や体験を重ね合わせ、地球の未来に対する意見を工夫して書く活動につなげることができるであろう。

(2) 生徒について

国語の学習に関しては、比較的前向きな生徒が多い。しかし、自分の考えをきちんと全体の前で発表することを苦手としている生徒が多い。日常の授業の中で、自分の考えや意見を書いたり、発表したりする際に根拠が明確に示せなかったり、根拠の妥当性に欠けたりする生徒も少なくはない。

そのため、本単元では主張を読み取ったり、主張の根拠となる事実を読み取ったりする活動を行いたい。また、それを生かし説得力のある文章を書ける力を身につけさせていきたい。

(3) 指導にあたって

本教材は、かつてイースター島をおそった悲劇を通して森林資源の大切さを訴える内容となっており、本教材への生徒の興味・関心は高いと思われる。また、モアイを擬人化したユニークな題名も中学生を惹きつけるであろう。1年次の「未来をひらく微生物」では各段落の役割、2年次の「モアイは語る」では説得力のある論理的展開の仕方、3年次の「生き物として生きる」では、さらに自分の意見を深める、といった系統化した学習となっている。

筆者の主張の根拠を読み取るために、教科書の内容から「イースター島の歴史年表」を作成させ、事実を読み取らせていくことで、興味を持ち活動してくれるであろう。そして、年表をもとに筆者の主張を的確にとらえさせたい。さらに、筆者の主張から自分の考えを導き出し、自らの体験や知識を生かし説得力のある文章を書かせたい。

(4) 生徒指導の機能を生かした授業について

本単元では、生徒指導の三機能（自己決定、自己存在感、共感的人間関係）を生かし、学習意欲の向上と学習内容の習得を図りたい。

学習内容を習得する中で、話し合いや発表を通し、友だちの考えと比べ合わせた上で自分の考えを広げ自己決定させたい。また、他の生徒の立場になり意見を考えたり、互いの良いところを認め合ったりする活動を通し共感的人間関係を育みたい。

3 単元の目標

◎モアイについて興味を持ち、過去の遺構から未来を考える筆者の着眼点に着目し、積極的に文章を読む。

◎社会生活の中から課題を決め、構成を工夫しながら自分の意見を書く。

◎文章全体と部分との関係を考えて、内容の理解に役立てる。

◎文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えを持つ。

◎多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめる。

4 単元の指導計画（10時間扱い 本時第6時）

次・時	目標	学習活動	主な評価規準
一次 1	○学習の見通しを持つ。	・学習の見通しを確認する。 ・新出漢字の確認する ・意味調べをする。	【関】学習の見通しを持つことができている。 【言】辞書を活用し、意味調べをしている。
二次 2	○段落ごとの役割をとらえ、展開を読み取ろう。	・通読し段落ごとの役割を考える。	【読】段落の役割（働き）を理解し、本文の段落の役割を理解している。
3	○序論、本論、結論を考えよう。	・序論・本論・結論をグループごとに話し合う。	【読】根拠を持って序論・本論・結論に分類できている。
4	○イースター島の歴史を整理し、筆者の主張の根拠を読み取ろう。	・イースター島の歴史年表を作成し、根拠となる事実を読み取る。	【読】根拠となる事実を選び、年表にまとめている。
5	○筆者の主張を捉え、主張を要約しよう。	・要約する時に必要なキーワードを話し合いで決め、それを用いて主張を要約する。	【読】主張の中のキーワードを選ぶことができる。 【書】筆者の主張を要約することができる。
6 (本時)	○自分の知識や体験をもとに、人類が生き延びる道を考えその理由を説明し自分の考えを広げよう。	・自分の知識や体験をもとに人類が生き延びる道を考え、その理由を説明する。	【読】筆者の主張に対し自分の考えを持っている。 【書】自分の立場を決め、学習したことをまとめることができる。
三次 7	○意見文を書くためのメモを作ろう。	・自分の意見を説明するために必要な情報を集め、整理し、メモを作成する。	【書】意見を説明するために必要な根拠をメモしている。

8	○事実や事柄を具体的に書き、自分の意見の根拠が明確になるように工夫して書こう。	・文章の構成を考え意見文を書く。	【書】自分の考えが効果的に伝わるように構成を考え書くことができる。
9	○文章を推敲し、構成や表現を検討しよう。	・読み手の視点から文章の構成や表現を検討する。	【書】推敲のポイントを理解し、より良い文章にするために、推敲をしている。
10	○文章をお互いに読み合い、内容や構成などについて評価しよう。	・文章をお互いに読み合い、内容や構成について意見を述べ合う。	【読】互いに文章を読み合い評価している。

5 本時の指導

(1) 目標

◎ 筆者の考えに対し、知識や体験と関連付けて自分の考えを持つ。

(2) 仮説にかかわる手立て

○自己決定：自分の考えを広げ適切にまとめるために、話し合いを通して学んだことを生かして自分の考えをまとめさせる。

・自己存在感：自分の考えが言語活動の中に生かされ、授業が構成されていることを実感させるために、話し合いのモデルを示し、話し合いをさせる。

・共感的人間関係：話し合いの方向性をとらえさせるために話し合いのモデルを使用する。また、友達の意見の良さや様々な考え方を理解しながら学習させ、自分の考えをまとめさせる。

(3) 本時の具体の評価規準と支援を要する生徒への支援

評価規準	満足できる	支援を要する生徒への手立て
相手の立場を考え、目的に沿って話し合い、自分の考えを広げている。	自分の主張を述べ、その理由を説明し、他の主張に対して意見を述べている。 また、話し合いを通し学んだ事を生かし、自分の考えを広げている。	話し合いが広がるように、視点や考え方をアドバイスする。また、話し合いで学んだ事を生かして自分の意見を書けるように、書き方などを支援する。

(4) 展開

段階	学習内容と学習活動	指導上の留意点と評価	3機能を生かす手立て
導入 10分	1 前時の授業を想起する	・筆者の主張を確認する。	
	2 課題を把握する		
	3 課題解決の見通しをもつ	・話し合いなどのモデルを示し見通しを持たせる。	

<p>展開 25分</p>	<p>4 課題を解決する</p> <p>(1) 3、4人グループで互いの意見を発表し意見を述べ合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の主張をカードに書く。 モデルプリントを参考に話し合いを進める。 <p>(2) 全体で交流する</p> <ul style="list-style-type: none"> カードを黒板に貼り分類する。 それぞれの理由を発表し、それに対する意見を交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> 机間巡視をし、話し合いが滞っているグループへアドバイスをする。 話し合いが広がるよう話題を投げかける。 それぞれの主張や理由を発表させ、考えが深まるように進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自己存在感 少人数で発表する機会を全員に与えたり、ボードに書かせたりすることで自己存在感を持たせる。 ○共感的人間関係 ・自分と同じ考え、違う考えを聞き分けさせ、友達の意見を認めることのできる雰囲気を作る。
<p>終末 15分</p>	<p>5 本時の学習で学んだ事についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人がまとめたものを発表し共有する。 <p>6 次時の学習の見通しを持つ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いや発表を通し学んだことを生かし、考えを深める。 ペアで互いのまとめを交流させ、その後全体で交流させる。 次時は実際に説得力のある文章を書くための情報を整理し、メモを作成する。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○自己決定 話し合いを通して学んだ事を生かして書かせる。</p> </div>

(5) 板書計画

石油の計画的な利用

リサイクル

ゴミを削減すること

海を守ること

水質守ること

CO₂を減らすこと

二酸化炭素の削減

石油を使用しない

ゴミを減らすこと

川を汚さないこと

空気を汚さないこと

CO₂の削減

森林を守ること

人口増加の抑制

オゾン層を守ること

新エネルギーの利用

似たようなテーマごとに分類して貼る。

筆者の主張

森林資源の計画的な利用が、人類の生き延びる道である。

課題

人類が生き延びる道を考え、その理由を説明しよう

モアイは語る―地球の未来

安田喜憲